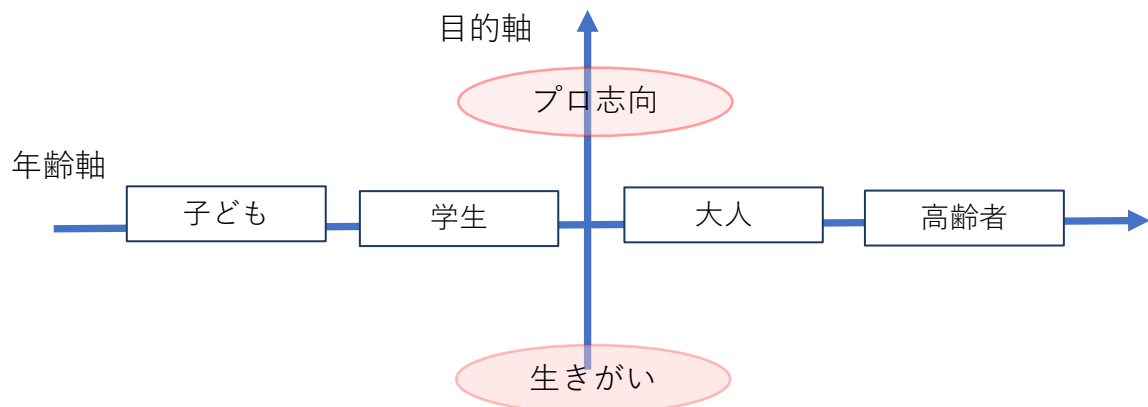


第4回研究会

2020.12.09

基本理念	すべての人々にスポーツと共に生きる場の創出
目的	スポーツ分野におけるビジネスモデルの確立 人々のスポーツに対する価値観の変革
概要	各種スポーツに関する情報収集及び研究 各種スポーツイベントの開催・運営に関する事業 各種スポーツスクールの企画・運営事業 各種スポーツのサポーター育成及びサポーター同士の交流の場の設定事業 各種スポーツ及び文化活動に関する講習会・セミナー等の開催事業



地域を舞台に、一生涯にわたり、
人づくり・健康づくり・生きがいづくり・絆づくり・街づくりを実現する

2002

スポーツメセナ研究所設立

当時のオフィシャルスポンサーadidasも参画し
クラブの実現について研究を重ねる



2003

WASEDA CLUB設立

参画Div：4競技 協賛企業：7社

2005

WASEDA CLUB 北信越支部設立

参画Div：4競技→10競技へ



2007

世界初 ダウン症レスリング大会開催

参画Div：4競技→8競技へ



2009

WASEDA CLUB 関西支部設立

参画Div：8競技→16競技へ

2015

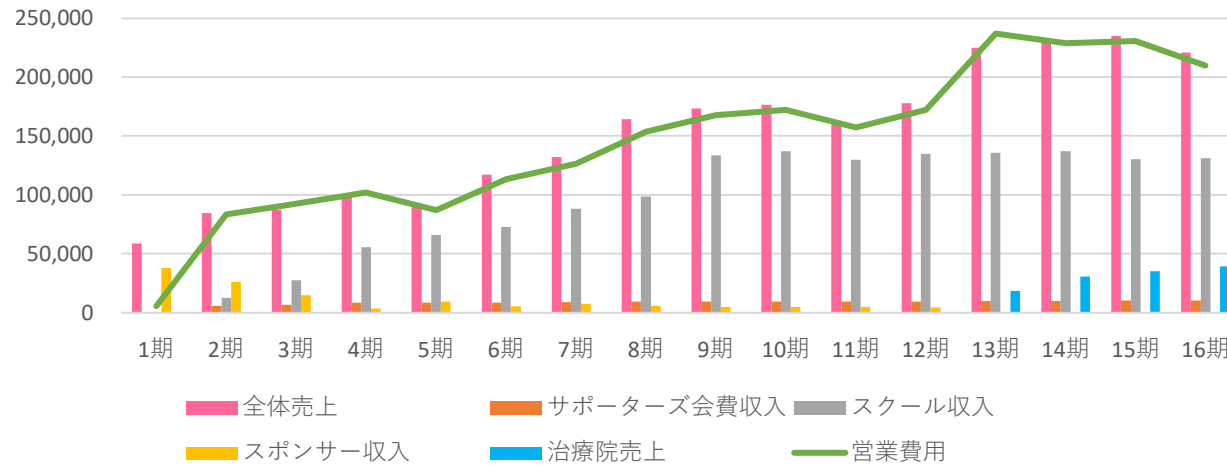
WASEDA CLUB接骨院鍼灸マッサージ院開業



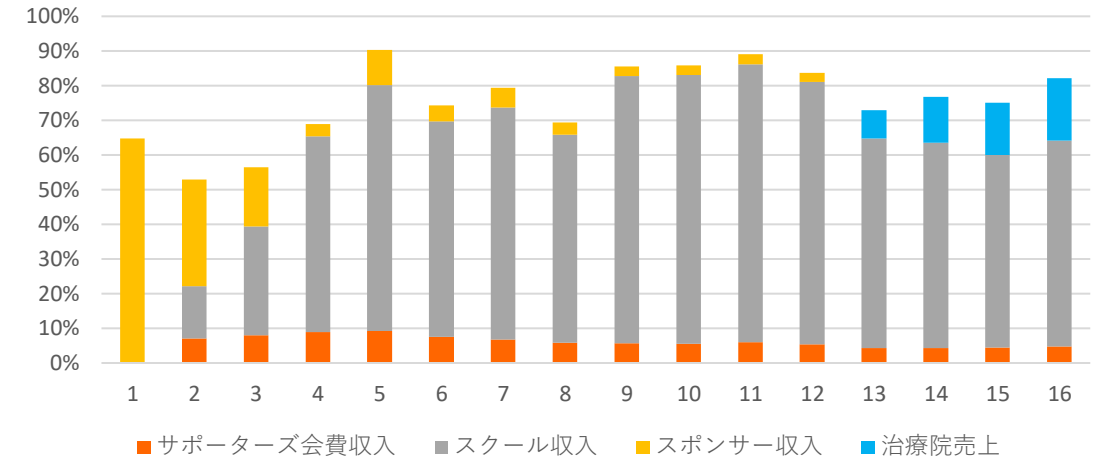
2020

SPORTS × STUDY 補講塾開業

2013年~2019年財務状況



収益構成比



- ▶ 2003年設立当初
 【借入】早稲田大学より2,800（千円）借入、5年返済
 【協賛】朝日新聞社、adidas、三共、Suntory、J SPORTS、日本公文教育研究会、三井住友カード
- ▶ 2015年ワセダクラブ接骨院鍼灸院を開設。2020年黒字化。
- ▶ 2016年以降協賛企業からのサポートなく、自主事業による収益のみで事業展開
- ▶ 2020年ワセダクラブSPORTS × STUDY事業開設。
- ▶ 今後、各競技スクール事業に加え上記2事業を収益の柱へと成長させる。



ラグビー専用カード



3,000枚限定



特定非営利活動法人WASEDA CLUB活動と成果

▶ 総合型地域スポーツクラブの具現化

大学内には、ほぼすべての競技種目の 人材・設備・ノウハウなどの資源が備わっている

▶ スポーツが持つ教育的価値の提供

スクール活動を通じて楽しみ・人間的成長・競技力向上

▶ 地域経済の活性化

スクール生の交通機関、駐車場、飲食店の利用による経済効果



子ども対象のクラブチーム 16競技

競技種目	在籍数	従事者数
ラグビー	400	30
サッカー	200	30
ボート	30	10
フライングフットボール	120	40
フェンシング	30	15
テニス	30	20
チアリーディング	250	10
新体操	70	4
レスリング	50	10
ハンドボール	10	6
ボクシング	30	7
バスケットボール	30	5
空手	40	40
柔道	10	10
合気道	40	15
卓球	15	15

大人対象のクラブチーム 9競技

競技種目	在籍数	従事者数
ラグビー	80	3
アメフト	90	3
ゴルフ	15	2
卓球	15	2
レスリング	20	5
合気道	15	2
ボート	15	5
テニス	20	5
ボクシング	15	2



課題

▶施設環境

- ・利用にあたり優先順位、利用時間に制限がある
- ・事業展開に制約がある

▶サポーターズクラブ会員の継続確保

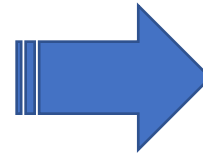
- ・現状スクール卒業と同時に会員退会
- ・卒業後も継続支援してもらう施策が必要

▶全国展開の限界

- ・立命館大学、慶應義塾大学、日本体育大学、同志社大学、近畿大学等ヒアリング実績あるが、事業化に至らず
- ・「大学をあげて」取組まなくてはならない

▶ヒト、モノ支援の強化

- ・人材交流、企業保有施設の貸与のによりwin-winの関係性構築が望ましい



望ましい姿

▶独自の施設確保

- ・終日各種競技クラブ活動の実施が可能

▶サポーターズクラブ会員の継続

- ・卒業後も会員を継続で約400人 / 年 × 5,500円 = 約220万の財源確保できる
- ・OBOG組織の形成

▶全国展開の限界

- ・早稲田だけでなく各都道府県の大学が施設開放及びクラブ事業に取り組むことが望ましい
- ・特にスポーツ系/医療系学部を保有する大学は学生の出口整備の意味でも取り組むべき

▶ヒト、モノ支援の強化

- ・クラブの環境を活用し、指導者として成長して企業へ戻る

特定非営利活動法人WASEDA CLUB 卒業生/在校生の活躍

ラグビーDiv 卒業生

- ・松島 幸太郎 (仏・ASMクレルモン・オーヴェルニュ)
- ・清宮 幸太郎 (北海道日本ハムファイターズ)
- ・佐藤 大樹 (慶應義塾大学⇒NTTコミュニケーションズシャイニングアークス)
- ・東郷 太郎丸 (流通経済大学⇒日野レッドドルフィンズ)
- ・早稲田大学/明治大学/法政大学/立教大学/筑波大学/青山学院大学/東海大学 (スポーツ推薦入学者あり) など



サッカーDiv 卒業生

- ・ブラウブリッツ秋田 (Jリーグ) /早稲田大学/法政大学サッカー部/各米国大学サッカー部/流通経済大学 (スポーツ推薦入学者あり) など
- ・FC東京 U-18/柏レイソルU-18/FC東京 U-15 深川/FC東京 U-15 むさし/柏レイソルU-15/大宮アルディージャU-15/川崎フロンターレU-15/三菱養和巣鴨
- FC多摩/STFC/久留米FC/三菱養和巣鴨U-12/柏レイソルU-12/浦和レッズU-12
- 【トレセン合格実績】
- ・ナショナルトレセン/東京トレセン/地域トレセン/ブロックトレセンなど



フェンシングDiv 卒業生

- ・松山 恭助 (早稲田大学フェンシング部⇒フェンシング日本代表主将/JTB)
- ・松山 大助 (早稲田大学フェンシング部⇒ジュニアフェンシングスクールコーチ)

ボクシングDiv 在校生

- ・篠原 光 ライトフライ級・アジアユース大会優勝
- ・中野 芳香 全日本UJボクシング大会優勝/令和2年度日本ボクシング連盟次世代強化指定選手

ボクシング 篠原 光選手

アメリカンフットボールDiv/ボートDiv/チアリーディングDiv等OBOGがスクール指導者として後進の指導にあっている。またクラブで指導経験を積んだコーチも、トップチームにて監督、コーチとして活躍している。



「磐田スポーツ部活」

～地域スポーツクラブ事業～

磐田市スポーツ戦略室



■ 磐田市の概要

人口 **17万9人** (平成30年9月末日)

面積 **164.08**km²

静岡県西部に位置し、温暖な気候、海や山、肥沃な大地と豊かな自然に恵まれ、古くからこの地方の中心都市として栄えてきました。現在は、製造業や農水産業などの産業が均衡ある発展を遂げているだけでなく、スポーツにおいては、サッカーとラグビーのトップリーグで活躍する2つのジュビロのホームタウンとして、全国に知られています。

■ 磐田市の公立中学校

平成28年5月1日現在 中学校

No.	学校名	生徒数 (特別支援学級在籍生徒を含む)				学級数					
		1年	2年	3年	総計	1年	2年	3年	普通計	特支	計
1	磐田第一中学校	155	156	161	472	5	5	5	15	4	19
2	城山中学校	279	267	280	826	8	8	8	24	3	27
3	向陽中学校	64	82	61	207	2	3	2	7	2	9
4	神明中学校	129	126	137	392	4	4	4	12	3	15
5	南部中学校	171	152	164	487	5	5	5	15	2	17
6	福田中学校	145	166	168	479	5	5	5	15	3	18
7	竜洋中学校	153	185	175	513	5	6	5	16	2	18
8	豊田中学校	128	126	135	389	4	4	4	12	2	14
9	豊田南中学校	155	148	136	439	5	5	4	14	3	17
10	豊岡中学校	97	102	99	298	3	3	3	9	2	11
	磐田市合計	1,476	1,510	1,516	4,502	46	48	45	139	26	165

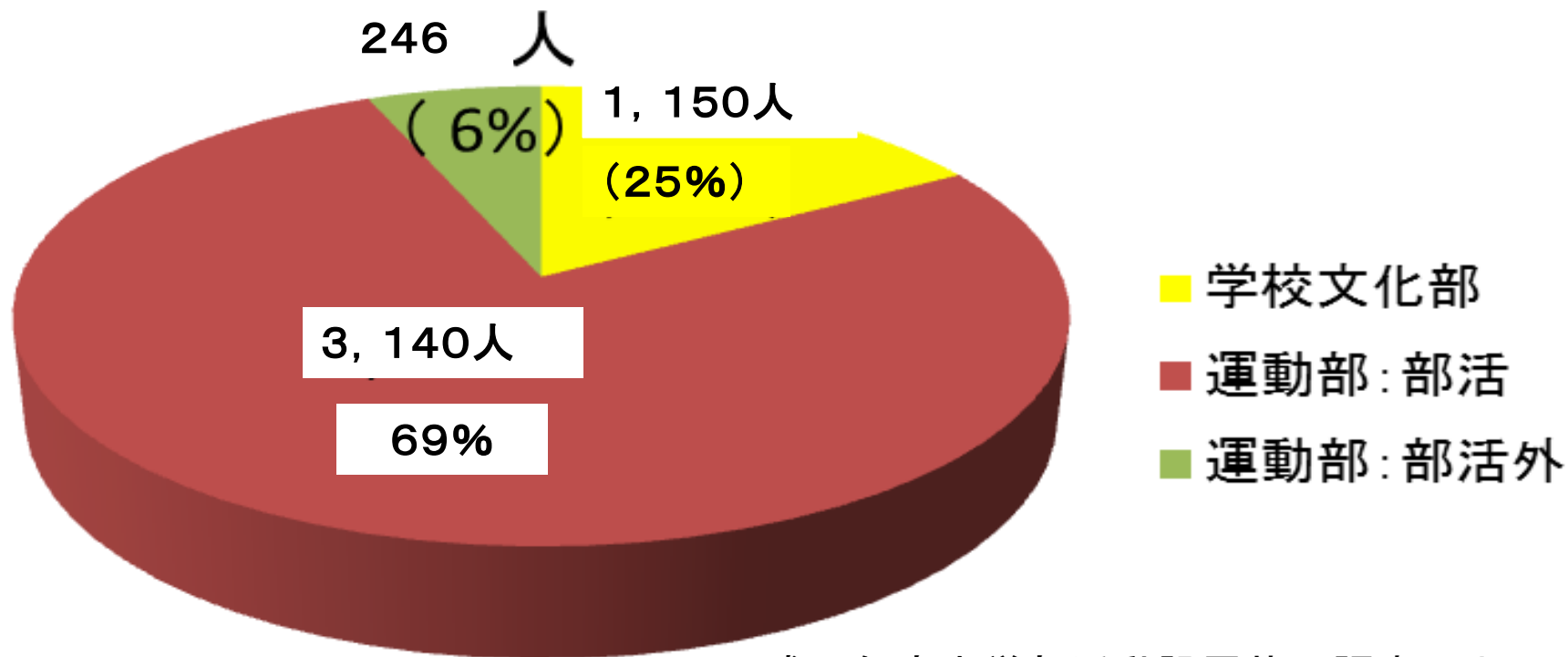
磐田市中学校運動部活設置状況

	磐田一中	城山中	向陽中	神明中	南部中	福田中	竜洋中	豊田中	豊田南中	豊岡中
野球(軟式)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
サッカー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陸上競技	○	○	○	○	○	○	○	磐田スポーツ部活		
柔道	○	○	×	×	○	×	×	×	×	×
剣道	○	○	×	×	○	×	×	×	×	○
バレー男	×	○	×	○	×	×	×	○	×	×
バレー女	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
卓球男	○	○	×	○	×	○	○	×	○	○
卓球女	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
テニス(軟式)男	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
テニス(軟式)女	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
バスケット男	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
バスケット女	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ソフト	×	○	×	×	×	×	×	×	○	×
水泳	○	○	×	×	×	○	○	×	×	×

■ 磐田市の中学校部活動状況

市内公立中学生 部活人員構成

生徒数合計：4,536人



※平成30年度中学部活動設置状況調査より

■ 事業実施に至った経緯

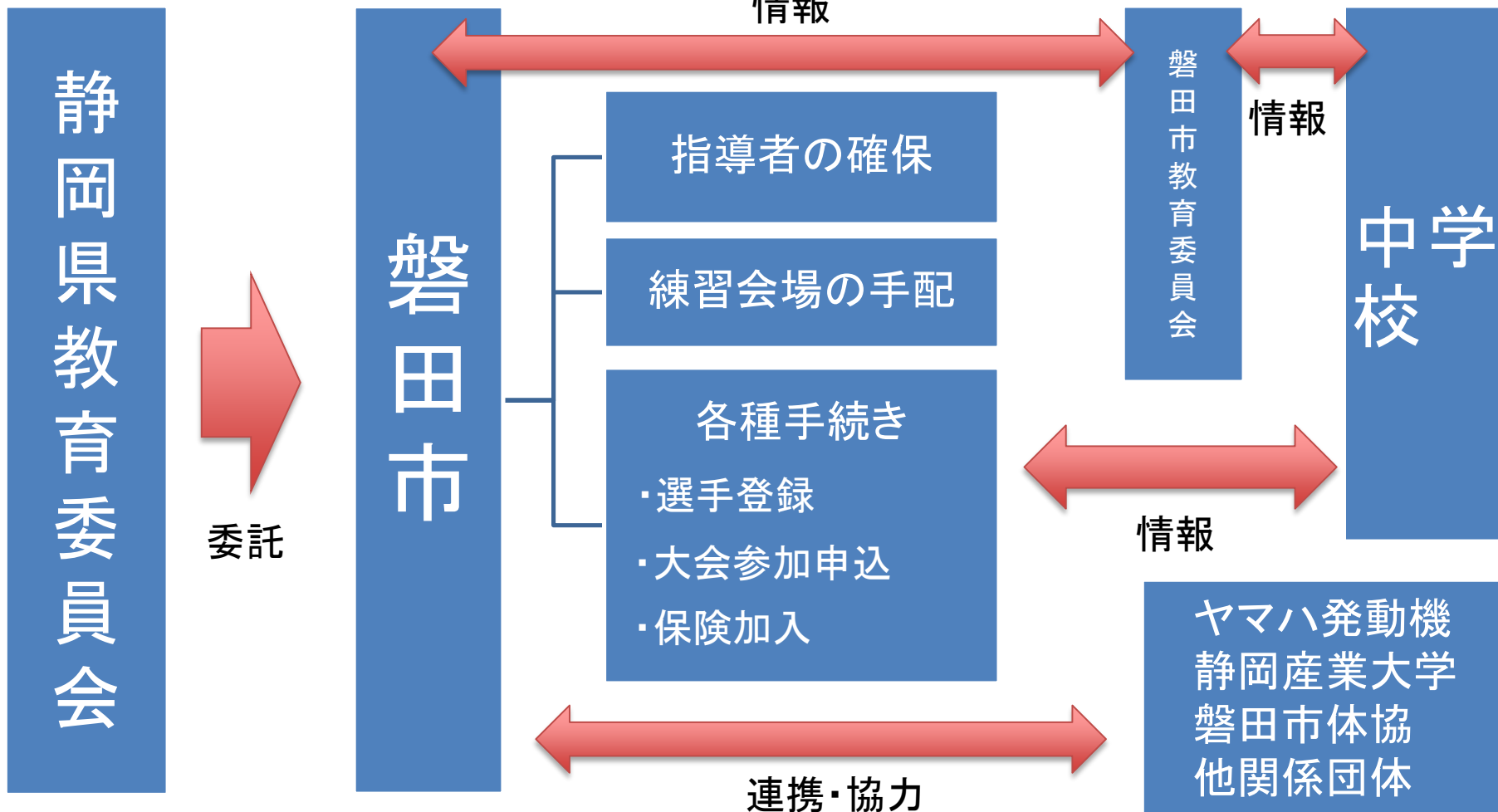
- 静岡県総合教育会議に先立って行われる、地域自立のための「人づくり・学校づくり」実践委員会での清宮克幸委員の提案
- 実践委員会からの提案を受け、平成27年9月の静岡県総合教育会議での知事と教育委員会は、「地域スポーツクラブ」の設立について合意
- モデル事業として「磐田市」で実施（平成28年度から3年間）

■ 事業目的

- 中学生のスポーツ活動の機会を充実
- 中学校教職員の負担軽減
- 学校部活動の枠を超え、企業や大学等地域とのスポーツ連携を促進



■ 事業体制



■ 事業内容

区分	概要
部活	学校に希望する部活がない生徒に対して、活動の場を定期的に提供するため、必要な合同部活を設置する。
スポーツ塾	学校の部活に所属している生徒、あるいは他の部活で活動しているが興味・関心がある生徒を対象に、競技レベルに応じた専門的な指導を行う。
体験教室	新たなスポーツの体験を希望する生徒に対して、学校部活の他に、スポーツ教室等を開催する。

■ 事業開始までの動き (4月～5月)

- 中学校に訪問、校長に個別説明、意見交換
- 中学校の新入生部活説明会に参加して説明
- 中体連関係者に説明
- 周辺の市教育委員会に説明
- ヤマハララグビースクール保護者会で説明
- 体験入学の実施、保護者に説明
- 練習会場の調整、手配
- ボールなど用具等の手配
- スポーツ安全保険の加入手続き
- 指導者との打合せ
- 磐田部活開始式(平成28年5月13日)の実施

■ 「部活」 陸上競技部

項目	内容
活動日 活動時間	週5日(月・火・木・金・土) 平日17:00~19:00・土8:30~11:30
部員数	豊田中 :19名 (H29年度16名) 豊田南中:20名 (H29年度 14名) 豊岡中 : 6名 (H29年度 1名) 合計 :45名 (H29年度 31名)
指導者	磐田陸上競技協会2名 静岡産業大学陸上競技部学生補助
練習会場	磐田市陸上競技場

■ 「部活」 ラグビー部

項目	内容
活動日 活動時間	週4日(月・水・金・土) 平日17:00~19:00・土9:30~12:30
部員数	7校24名 (H29年度6校20名)
指導者	ヤマハ発動機(株)スポーツ推進G 1名 (元ヤマハ発動機ジュビロ選手)
練習会場	磐田スポーツ交流の里ゆめりあ ヤマハ発動機(株)大久保グラウンド

■ スポーツ塾・体験教室

項目	平成29年度 実施種目
スポーツ塾	卓球・柔道・男子バレーボール
体験教室	トランポリン・硬式テニス・柔道・男子バレーボール

■ 事務局体制

- 磐田市スポーツ戦略室で担当
 - － 市正規職員(室長)1名
 - － 県教育主幹(県職員・磐田市駐在)1名
 - － 市嘱託職員2名
- 担当業務
 - － 指導者との連絡調整・謝金支払処理、部活指導員の任用、練習会場の手配、保険加入や大会出場手続きなどの事務、スポーツ塾や体験教室の企画実施、その他活動に必要な事務全般

■ 部活補助員

- 磐田市臨時職員（部活補助員）
- 部活指導者の指導補助
- 1名配置
- 原則、平日5日 17時～19時勤務
 - － 月・水・金はラグビー部、火・木は陸上競技部
 - － 土日の練習・大会等の対応は随時調整

■ 保険（スポーツ安全保険加入）

スポーツ安全保険					災害共済給付制度(現行学校部活指導)			
学校管理下を除いた団体活動とその往復 800円					学校管理課での負傷疾病に対する給付			
死亡	後遺障害	入院(1日)	通院(1日)	賠償責任保険	死亡	後遺障害	負傷	疾病
2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	1事故5億円 対人賠償 一人1億円	2,800万円	3,770万円 ~82万円	療養に要する費用の 額5,000円以上のもの	療養に要する費用の 額5,000円以上のもの
<p>①医療費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入院、通院は1日目から補償、180日以内の入院・通院が対象、通院保険の支払日数は30日限度 <p>②突然死の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・葬祭費用として180万円(急性心不全・脳内出血など) 					<p>①医療費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療保険並の療養に要する費用額の4/10。窓口で1,500払った場合は2,000の給付。 ・費用の額が5,000円とは医療費総額(保険10割分) (病院窓口で1,500円以上保護者負担があった場合) ※時間内に診察を受けた場合、レントゲンを1方向のみを撮った場合、傷の消毒のみの場合は5,000円(500点)以上にはならないため対象外となる。 <p>②突然死の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校管理下で運動などの行為と関連なしに発生した場合は1,400万円、運動など行為が起因あるいは誘因となり発生したものは2,800万円 			
指導者 1,850円					顧問			
死亡	後遺障害	入院(1日)	通院(1日)	賠償責任保険	勤務中の扱いになり、公務災害及び勤務中としての賠償責任扱い			
2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	1事故5億円 対人賠償 一人1億円				

■ 活動の配慮・工夫など

- 生徒の送迎は自分または保護者の対応
- 磐田市教育委員会学校教育課と連絡を密にして情報共有を図る。必要に応じて校長会にて説明
- 試験など、学校行事に配慮して練習日程を組む
- 学校訪問を随時行い、個別に説明や相談、意見交換をしている
- 荒天時対応などの緊急連絡は、陸上部は所属中学校に掲示板を設置、ラグビー部はメール連絡
- 学期ごとに、生徒本人と指導者に振り返りコメントを記入してもらい、中学校に報告
- メディア取材は必ず磐田市スポーツ戦略室担当を通じて調整・対応

■ 事業予算

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
〔歳入〕 県地域スポーツクラブ 推進事業委託金	10,018,720円 (決算額)	8,605,000円 (決算額)	7,400,000円 (予算額)
〔歳出〕 地域スポーツクラブ事業	7,370,811円 (決算額)	3,494,705円 (決算額)	3,921,000円 (予算額)


■ 平成28年度事業決算内訳

科目	内容	金額	備考
賃金	部活指導員(臨時職員)	865,055円	2名分
報償金	指導者謝金、講師謝金など	2,567,452円	
費用弁償	指導者等大会及び部活交通費	20,440円	
普通旅費	指導者旅費	38,554円	
消耗品	練習用具など	1,149,199円	
印刷製本費	体験教室チラシ、横断幕など	181,861円	
修繕料	卓球台修理	59,400円	
通信運搬費	卓球台運搬費など	432,000円	
保険料	スポーツ安全保険、1日保険	158,000円	
使用料	バス借上料、施設使用料	1,839,050円	
備品購入費	練習用放送機器	59,800円	
合計		7,370,811円	消費税含む

■ 平成29年度事業決算内訳

科目	内容	金額	備考
共済費	臨時職員(部活補助員)	2,999円	
賃金	臨時職員(部活補助員)	579,135円	1名分
報償金	指導者謝金、講師謝金	1,837,000円	
普通旅費	指導者大会旅費	132,378円	
消耗品	練習用具など	494,353円	
印刷製本費	封筒、バナー代など	58,320円	
保険料	スポーツ安全保険、1日保険	126,250円	
使用料	バス借上料、施設使用料	264,270円	
合計		3,494,705円	消費税含む

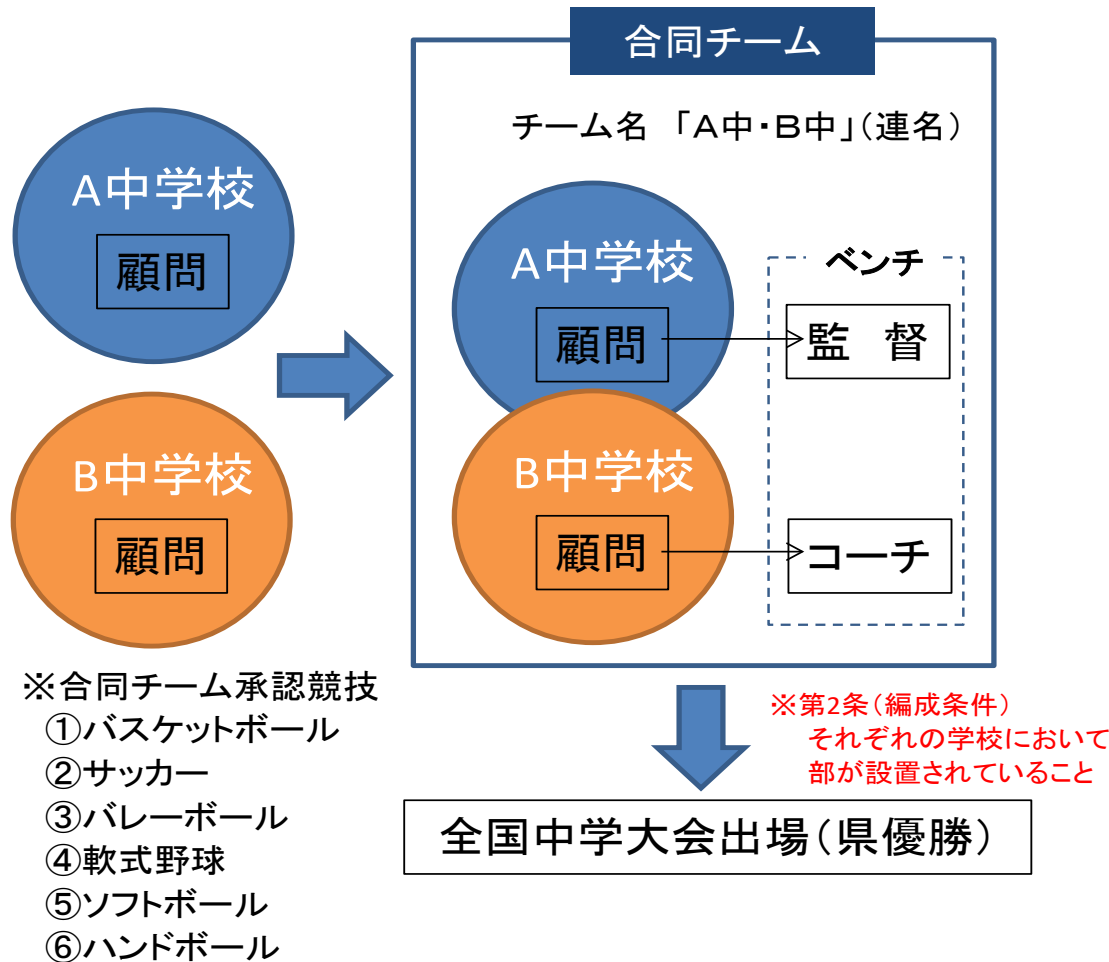
県中体連加盟種目と磐田市設置種目

静岡県	磐田市
野球(軟式)	野球(軟式)
サッカー	サッカー
陸上競技	陸上競技
柔道	柔道
剣道	剣道
バレー男	バレー男
バレー女	バレー女
卓球男	卓球男
卓球女	卓球女
テニス(軟式)男	テニス(軟式)男
テニス(軟式)女	テニス(軟式)女
バスケット男	バスケット男
バスケット女	バスケット女
ソフト	ソフト
水泳	水泳
ハンド	 <p>磐田市未設置種目 (加盟5種目・準加盟1種目)</p>
体操	
新体操	
バドミントン	
相撲	
硬式テニス(準加盟)	

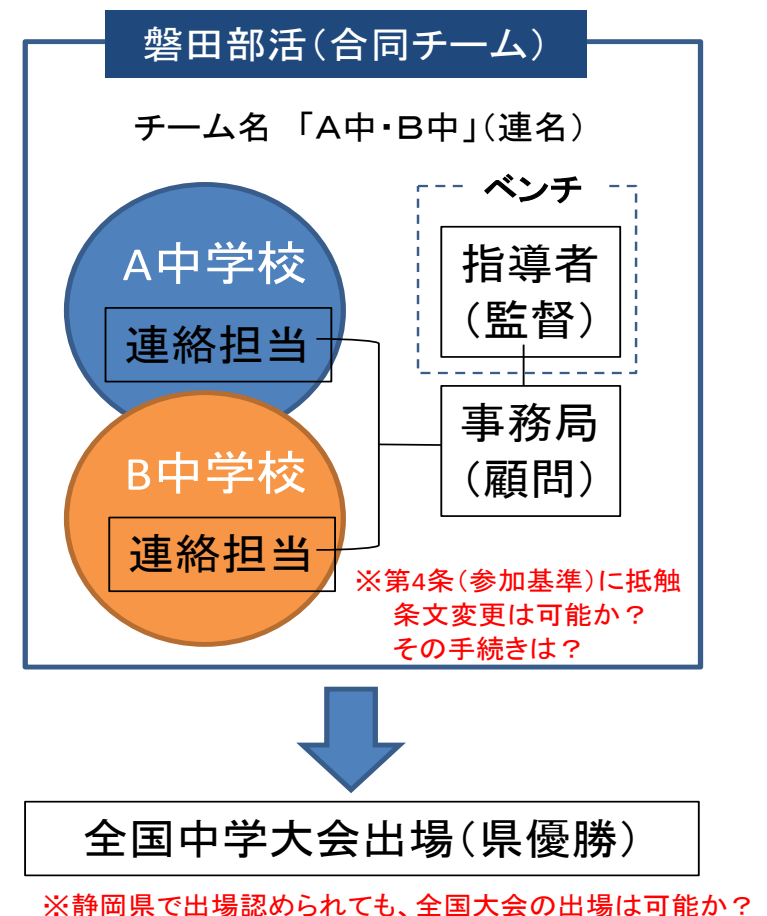
県中体連合同チーム参加規程

【検討】

静岡県合同チーム参加規程



磐田スポーツ部活方式





AZSC
AZALEA SPORTS CLUB

『アザレア・スポーツクラブ (AZSC)』

1 アザレア・スポーツクラブの理念

■ スポーツの夢を女性へ、子どもへ

● 6つのミッション

- ◆ 女性アスリートの環境改善
- ◆ 子どもたちへのスポーツサポート
- ◆ 生涯健康づくり
- ◆ 地域共生
- ◆ 多様性を認め合う
- ◆ 持続可能な経営基盤

スポーツを通じたスポーツクラブ・大学・医療機関・企業・行政との協働によるまちづくり

存在意義

複数のトップレベルスポーツを持つクラブとしての
潜在価値を地域と共有していく

Mission

「**スポーツ支援活動**」を通じて、

- ①地域のスポーツ文化の象徴となるよう尽力(トップスポーツ支援)
- ②地域の健康的・文化的ライフスタイルの創成(スポーツ地域普及)
- ③地域経済活性化と地域密着度拡大を目指す(スタジアム集客活動)



運動・スポーツ習慣化

共有目的

2019RWCのレガシー創りとアフターコロナの安全対策
(エコパスタンダード提案)

具体的活動

- ①女子7人制CUP戦の創設～当面は国内、将来はグローバル展開
- ②アザレアカレッジ(女子中高生向け)の開校
- ③エコパラグビーハイスクール(男子高校生部活向け)の開校
- ④指導者育成プログラム(随時)の企画
- ⑤アフターコロナの安全対策(エコパスタンダード)
- ⑥地域認知拡大への取組⇒ジュニア(小学生)教室兼ジュニアボランティア育成
- ⑦地域認知拡大への取組⇒シニア(高齢者)体操教室兼シニアボランティア育成



■スポーツによる地域活性化推進事業の最終形態 (AZSCのあるべき姿)



AZSC
AZALEA SPORTS CLUB

地域スポーツ
振興

地域スポーツ
文化の象徴

地域への
「共感」「支持」
醸成活動

地域活性化

周辺地域住民

文化地域
普及活動

スポーツ地域
普及活動

女子野球
(アザレア9)

女子ラグビー
(アザレア7)

スポーツに特化した社会貢献活動

①地域の人々に夢
や憧れを与える

②青少年の健全な
育成を目指す

③地域活性化と
地域密着度拡大

■AZSCスポンサーおよび後援会法人会員 (2020年9月末現在)



AZSC
AZALEA SPORTS CLUB

SPONSOR

後援会 法人会員

GOLD PARTNER	静岡銀行 静岡新聞 SBS Suzuyo
SILVER PARTNER	YAMAHA YAMAHA AGING WITH BEAUTY NEFFUL 丸明建設株式会社 RSTC アザレア・スポーツクラブ後援会
OFFICIAL PARTNER	株式会社 アスリートフードマイスター 遠州トラック 小原歯科医院 月見里診療所 きたはらクリニック ZEXIM <small>東京歯科大学口腔健康科学講座スポーツ歯学研究室</small> SWITCH Hair & Esthe & Nail 浜松バス株式会社
OFFICIAL SUPPLIER	adidas X-PLOSION® エクスプロージョン CHANSON COSMETICS TOELL magniflex マニフレックス
REGIONAL PARTNER	磐田市立総合病院 静岡産業大学

株式会社愛ノ宮	遠鉄グループ
おいもや Oimoya	きたはらクリニック ZEXIM
サンJNETS	鈴与グループ
(株)キャタラー	(株)SBSプロモーション
(株)イトー	遠州中央農業協同組合
おの耳鼻咽喉科	掛川グランドホテル
掛川市森林組合	カワサキ機工(株)
(株)幸栄グラフィック	(株)三和製作所
(株)ジェイ・ブラッカ	(株)鈴木建設
STUDIO ONE	HMIホテルグループ つま恋リゾート彩の郷
豊田肥料(株)	トヨタ緑産(株)
浜松学芸中学校・高等学校	HAREL(株)
(株)ビーフラット	(株)藤田鉄工所
(株)増田採種場	(株)ハケ代造園
Yamaguchi Design	

五十音順

※2020年9月30日現在